

## 石油の世界館魅力向上事業について

## 1 内 容

歳入 アラムコ・アジア・ジャパン㈱からの寄附金： 20 万米ドル

寄附時点（4 月 26 日）のレートで換金し、22,264 千円

歳出 石油の世界館魅力向上事業費： 22,264 千円（歳入と同額）令和 2 年へ繰越

## 2 施設の概要

名称：石油の世界館 面積：(敷地) 1,261.00 m<sup>2</sup>

住所：新潟市秋葉区金津 1172 番地 1 (延床) 1,329.40 m<sup>2</sup>

開館：昭和 63 年 9 月 構造：RC 造 2 階建

明治時代後期から大正時代にかけて日本一の産油量を誇り、我が国の産業・経済に大きく寄与した新津油田を中心とする石油採掘の歴史や、石油と人とのかかわりを展示で紹介する施設周辺の石油の里公園は、昨年 10 月に「新津油田金津鉦場跡」として国の史跡に指定。

施設利用実績 過去 5 年間 入館者数 (H26-11,112 人, H27-13,025 人, H28-10,965 人, H29-9,957 人, H30-10,855 人)

## 3 経 緯

平成 27 年 8 月、サウジアラビア王国の国営石油会社の日本法人であるアラムコ・アジア・ジャパン㈱から、石油の世界館への寄附について打診があり、役員・担当者が現地を視察。

同社は、当館が日本において石油文化の普及啓発に尽力していることに感銘を受け、寄附について社内で協議を続けてきた結果、平成 31 年 4 月に寄附申込書を市へ提出、同月 26 日に寄附金が市へ入金され、今月 4 日に新潟市と連携協定書を締結。

## 4 寄附活用事業の内容

昨年は開館 30 周年や史跡指定の年で、当館の設備や展示の更新を求める声が寄せられる中、この寄附金を以下の①②に活用することで、同館の魅力向上につなげ、さらに郷土への誇りを醸成していきたい。

① 石油資源資料室Ⅱの壁面に映像を投影する設備の改修

② ①で上映する新たな映像ソフトの制作

・国指定史跡「新津油田金津鉦場跡」の概要と価値の説明

・一ノ沢地層露頭に見られる地形の変化の解説

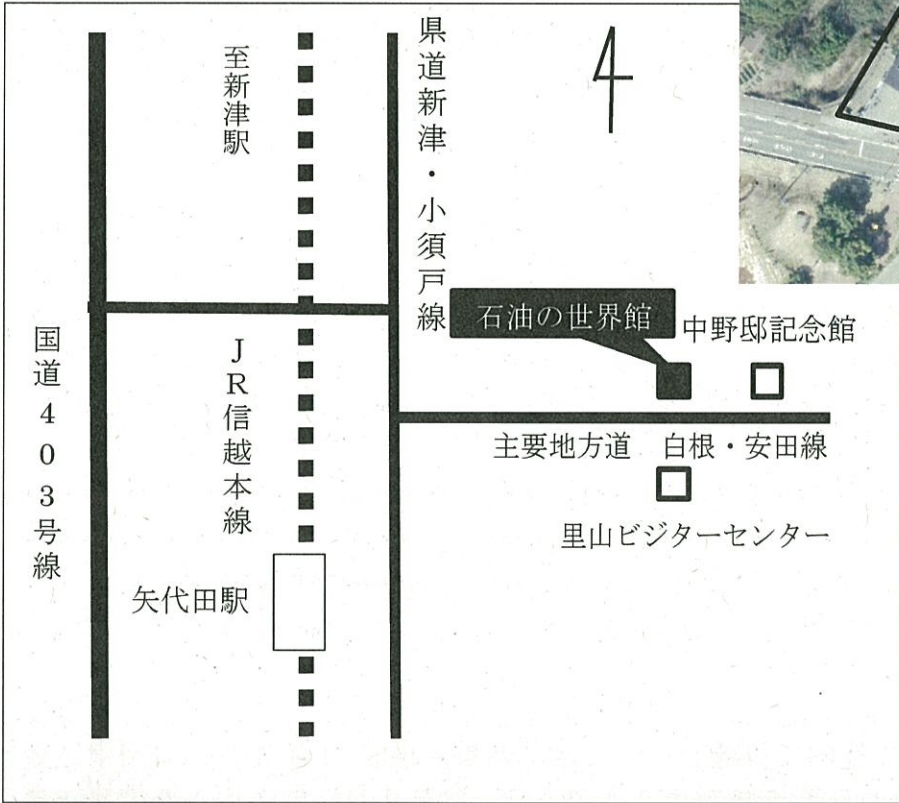
・小・中学生の学習活動（石油を含む地層の見学）と「石油の世界館友の会」が主催する視察や研修に対応し、石油産業を支えてきた郷土の歴史的な流れと地層学的な視点から石油資源の理解を深めることを目指す。

## 5 今後のスケジュール

- 上記の事業は令和元年度から着手し、2 年度にかけてリニューアルオープンを予定。

# 参考図

■位置図 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 172 番地 1



■建物写真



石油の世界館外観



展示品



ジオラマ



上総掘り槽模型